

L P 協会保安第 2 1 ~ 3 6 号
平成 2 1 年 7 月 3 1 日

都道府県協会会長 殿
企業会員代表者 殿

(社) エルピーガス協会
会 長 川 本 宜 彦
保安委員長 立 原 孝 夫

CO 中毒事故多発に対する 緊急対策の実施について(お願い)

平素より L P ガスの保安対策について、ご協力を頂きありがとうございます。

皆様ご存知の通り、本年、特にここ 1 ~ 2 ヶ月間において、多くの CO 中毒事故が発生しております。中でも業務用施設や多くの人が入り出る施設において同事故が発生しています。その結果、死者および多数の中毒者が出る事故になっております。(別添資料参照)

これまでも数度にわたり CO 中毒事故防止のための注意喚起をお客様にさせていただきお願いしてきましたが、現下の事故が多発している状況にかんがみ、再度事故防止のための緊急対策を実施していただくようお願い申し上げます。

業務用施設や多くの人が入り出る施設において類似事故が発生した場合、多数の方が被害に巻き込まれる恐れがあります。つきましては緊急対策として、早急(できれば旧盆前)に施設の管理責任者やユーザー(従業員等)に対して、注意喚起をしていただくようお願い申し上げます。

なお、注意喚起の内容は、これまで発出した関連文書(1月30日、3月3日、3月6日、7月22日に発出)に記載してある内容および下記に列記した内容を参考に実施してください。

緊急対策の内容

1 . 使用上の注意喚起を徹底する。

一酸化炭素(CO)は無臭であるため、自覚症状が出た時は手遅れの場合が多く、中毒により死に至る場合があることを十分認識させること。

CO中毒を防止するため、業務用施設や多くの人が集まる施設においてガス消費機器を使用する際には、換気及び給気が十分であるか確認した上で、換気設備等を稼働させることを作業者に周知徹底すること。

特に、夏季にはガス消費機器を使用中にエアコンをつけるため、換気を止めたり厨房を密閉することがある。エアコンをつけても必ず給換気をするよう、作業者に周知徹底すること。

ガス消費機器の火がつきにくい、異臭がするなどの異常が起きた場合には、不完全燃焼を起こしている可能性があるため、LPガス販売業者に連絡の上、至急、点検を受けるよう促すこと。

COの早期覚知のため、CO警報器(不完全燃焼警報器)の設置についても前向きに検討すること。

排気ダクト、換気扇、ガス消費機器の給排気部及びバーナー部が油、ほこり等で閉そくしないよう、常に清掃を心がけること。

2 . 安全機器(不燃防付き機器、CO(換気)警報器)等の設置を促進する。

不燃防のない開放式、CF式、FE式の湯沸器については、これまで通り交換を促すこと。

交換するまでの事故防止の手段として、CO警報器又は業務用CO換気警報器の普及促進を行うこと。

業務用パン焼き器、オーブン、ゆで麺機、フライヤーなどは不完全燃焼防止装置が付いていない場合が多いことを使用者に認知させること(そのため、CO中毒事故の起こる可能性が大きいことを認識させること)。また、CO警報器又は業務用CO換気警報器の普及促進を行うこと。

経年劣化等による老朽化した機器については、事故を起こす可能性が大きいいため、極力交換を勧めること。

以上

発信手段：Eメール、FAX

担当：保安グループ

別添

平成21年LPガス・都市ガス一酸化炭素中毒事故一覧表

平成21年7月28日現在

LPガス						都市ガス					
	発生日	発生場所	人身被害				発生日	発生場所	人身被害		
			死亡	中毒	負傷				死亡	中毒	負傷
1	1月26日	鹿児島県	0	18	0	1	1月15日	東京都	0	(軽症)2	0
2	1月30日	福島県	0	(軽症)4	0	2	1月16日	東京都	0	(軽症)1	0
3	6月2日	山口県	1	21	0	3	1月17日	岐阜県	2	0	0
4	6月12日	岐阜県	0	(軽症)3	0	4	1月17日	千葉県	0	(軽症)2	0
5	6月22日	宮崎県	0	(軽症)2	0	5	1月24日	東京都	0	(軽症)1	0
6	7月5日	長野県	0	(軽症)2	0	6	3月3日	兵庫県	0	(軽症)1	0
7	7月21日	福岡県	0	(軽症)9	0	7	3月14日	東京都	0	(軽症)1	0
8	7月21日	石川県	2	0	0	8	3月15日	北海道	1	0	0
9	7月25日	福岡県	0	(軽症)3	0	9	4月15日	愛知県	0	(軽症)3	0
10						10	6月4日	東京都	0	(軽症)3	0
合計			3	62	0	合計			3	14	0

原子力安全・保安院HPガス事故速報より抜粋

LPガス

	発生日	発生場所	人身被害			事故概要	機器分類	参考情報		
			死亡	中毒	負傷			製造(輸入)者	型式	
1	1月26日	鹿児島県	0	18	0	鹿児島県の高等学校において、調理実習中の生徒17名と教員1名が病院で治療を受けた。原因は、何らかの原因で換気不良が生じたものと推定されるが、現在調査中。	その他湯沸器(貯湯式湯沸器)	株式会社巴商会	TGN Y 1002 (製造年月:1984年2月)	
							業務用こんろ	タニコー	R1532A2 (製造年月:2001年10月)	
							業務用オープン	アイホー	ACO-04G (製造年月:2007年4月)	
2	1月30日	福島県	0	(軽症)4	0	福島県の葬祭場において、食器等を洗っていた従業員4名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、入院した。原因は、適切な換気が行われず、排気が室内に滞留したためと推定されるが、現在調査中。	瞬間湯沸器(FE式)	TOTO株式会社	RGH10EME (1994年9月)	
3	6月2日	山口県	1	21	0	宿泊施設において、滞在していた小学生ら22名が一酸化炭素中毒となり、病院へ搬送され、うち1名が死亡した事故が発生。6月5日～7日に現地調査を行うなど、詳細調査中。	給湯用ボイラー	三浦工業(株)	UT-200NS (1998年12月製)	
4	6月12日	岐阜県	0	(軽症)3	0	菓子店の厨房において、調理をしていた従業員3名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、入院した。原因は、厨房内の換気扇3基のうち1基しか作動しておらず、排気が室内に滞留したためと推定されるが、現在調査中。	業務用オープン	株式会社 ワールド精機	FG32Y-D-PP (1997年8月製) FG-43YW-D-PPK (2006年9月製)	
5	6月22日	宮崎県	0	(軽症)2	0	保育園の調理室において、ガスコンロを使用し調理をしていた調理師2名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、病院へ搬送された。原因は、密閉した調理室内でガスコンロを使用したことから、給排気が不十分になり不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒に至ったものと推定されるが、詳細は現在調査中。	業務用4口コンロ	不明	不明	
							3連コンロ	不明	不明	
6	7月5日	長野県	0	(軽症)2	0	庭園内のフードコートの厨房において、パン焼き用オープンを使用していた従業員2名が一酸化炭素中毒(軽症)となり、入院した。原因は、換気扇を回さずにパン焼き用オープンを使用したことから、排気が室内に滞留したためと推定されるが、詳細は現在調査中。	調査中	調査中	調査中	
7	7月21日	福岡県	0	(軽症)9	0	飲食店において、9名(従業員2名、客7名)が一酸化炭素中毒とみられる症状(軽症)により、病院に搬送された。原因を含めて、現在詳細調査中。	業務用フライヤー	(株)コメットカトウ	調査中	
							業務用パテ焼き器	(株)コメットカトウ	調査中	
							業務用こんろ	リンナイ(株)	RSB-306(1995年9月製)	
8	7月21日	石川県	2	0	0	小学校において、食器洗浄機のメンテナンス作業を行っていた作業員2名が病院に搬送され、死亡した。被害は一酸化炭素中毒によるものと考えられる。なお、事故当時、給湯器を使用していたが、換気扇は回していなかった。現在、原因を含めて詳細調査中。	調査中	調査中	調査中	
9	7月25日	福岡県	0	(軽症)3	0	飲食店において、3名(従業員2名、取引業者1名)が一酸化炭素中毒とみられる症状(軽症)により、病院に搬送された。厨房の換気扇が故障していたため、換気扇を使用していなかったとの情報があるが、原因を含めて、現在、詳細調査中。	業務用こんろ	リンナイ(株)	RSB306(製造年不明) RTS-1NP(2002年1月)	
							業務用フライヤー(2台)	(株)コメットカトウ	OSF472MF (1999年1月製)	
							業務用グリドル	(株)コメットカトウ	OBFG-1185MFL3 (1998年12月製)	
							業務用オープン	リンナイ(株)	RGP-42B (製造年不明)	
							瞬間湯沸器(屋外式)	(株)ノーリツ	GQ-2037WS (製造年不明)	

都市ガス

	発生日	発生場所	人身被害			事故概要	機器分類	参考情報	
			死亡	中毒	負傷			製造(輸入)者	型式
1	1月15日	東京都	0	(軽症) 2	0	需要家から「店舗を営業中に従業員2名の気分が悪くなり病院へ搬送され一酸化炭素中毒と診断された」との連絡を受けた。当該厨房内には業務用めんゆで器及び業務用こんろがあり、いずれかの機器が何らかの原因で不完全燃焼となり一酸化炭素が発生したものと推定される。なお、業務用の一酸化炭素警報機は設置されていなかった。詳細調査中。	不明	不明 (製造年不明)	
2	1月16日	東京都	0	(軽症) 1	0	消防からガス機器使用中に事故を起こした飲食店の現場調査の立会い要請を受け、1月23日にガス事業者が確認、聴取したところ、業務用厨房において業務用めんゆで器を使用中に2名の従業員が気分が悪くなり病院へ搬送されたことを確認した。事故発生時、換気扇は回していたが、当該めんゆで器の給気口が害虫駆除のために約1年前に設置した目の細かい金網によって閉そくされており、長時間のガス機器使用により厨房内が酸欠状態になり、当該機器が不完全燃焼し高濃度の一酸化炭素が発生した可能性が考えられる。なお、当該店舗内にガス漏れ警報器及び一酸化炭素警報機は設置されていなかったが事故後直ちに設置した。詳細調査中。	業務用めんゆで器	不明 (製造年不明)	
3	1月17日	岐阜県	2		0	消防から「ガス臭がある」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、一酸化炭素中毒により2名が死亡していることを確認した。ガス事業者による調査の結果、洗面所設置の瞬間湯沸器の排気から、排気ファン稼働時には0.4%の一酸化炭素が、また排気ファン稼働時には0.001%の一酸化炭素が排出されていることが判明している。また、現場では、排気ファンの電源プラグが抜かれていたとの情報あり。詳細調査中。	瞬間湯沸器(開放式)	パロマ工業株式会社 (東邦ガス株式会社販売分)	PH-5号-3F (品番:PIC-100B) (1984年5月製)
4	1月17日	千葉県	0	(軽症) 2	0	消防から「2名を病院に搬送した」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、需要家2名が入浴中に気分が悪くなり病院に搬送されたことを確認した。当該建物は塗装工事中であり当該住戸の浴室の換気口と給気口が養生のためビニールシートで塞がれていた。詳細調査中。	半密閉(CF)式風呂釜	株式会社 世田谷製作所	ST-704CFSAN (1997年9月製)
5	1月24日	東京都	0	(軽症) 1	0	機器製造メーカーから「業務用店舗の従業員がガス機器を使用中に具合が悪くなり病院へ搬送された」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、業務用厨房において強制排気式湯沸器から高濃度の一酸化炭素(1.53%)が排出されており、加えて、事故当時、当該従業員は当該機器直上に設置されている換気ダクトを稼働させておらず、また、設置されていた複合型警報器は、有効期限切れで鳴動しなかった(1/27、警報器取替済)。詳細調査中。	瞬間湯沸器(強制排気式)	株式会社ノーリツ (東京ガス株式会社販売分)	GQ-2421WZ-HP-2 (品番:NR-A524-HP-L) (2003年4月製)
6	3月3日	兵庫県	0	(軽症) 1	0	需要家から「湯沸器の調子がおかしい」との連絡を受け、ガス事業者の販売協力店が3月4日に確認したところ、当該機器から高濃度の一酸化炭素が排出すること、当該機器を操作していた職員1名が気分が悪くなり病院に搬送されていたことを確認した。ガス事業者が調査したところ、当該機器の給気口の一部が埃により目詰まりし、点火・失火を繰り返す状態となっており、また搬送された職員は当該機器操作時に換気扇を使用していなかったことが判明している。詳細調査中。	瞬間湯沸器	株式会社ハーマン (現株式会社ハーマンプロ)	YR526 (品番:033-0056) (1994年12月製)
7	3月14日	東京都	0	(軽症) 1	0	消防から「入浴中に気分が悪くなった人がいる」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、需要家がシャワーを使用中、気分が悪くなり脱衣室で倒れ、病院に搬送され一酸化炭素中毒の疑いありと診断されたことを確認した。屋外のパイプシャフト内に設置された給湯器の排気口吹き出し口は、パイプシャフト内で屋外開口部に向かっておらず排気ガスが滞留しやすい状態であり、また浴室及び台所の換気ダクト出口がパイプシャフト内設置となっており、さらに事故当日は非常に風が強い気象状況であったため、一酸化炭素を含む排気ガスが強風で押し戻され、天井裏や換気ダクトのトップから浴室内に流れ込んだものと推定される。詳細調査中。	瞬間湯沸器(屋外式)	リンナイ株式会社	RUA-24W (1990年11月製)
8	3月15日	北海道	1		0	消防から「一酸化炭素中毒事故発生」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、一酸化炭素中毒により1名が死亡しているのを確認した。当該供給ガスは一酸化炭素を含むガス種であり、現在各需要家宅の天然ガス転換を進めているところ(今年8月完了予定)。ガス事業者による漏えい検査の結果、内管及び付近の供給管にガス漏れは確認されなかった。また、壁埋込ガス栓に取り付けられたゴムホースの先が開放されており、ガス栓が半開の状態であった。なお、マイコンメーターが作動し遮断状態であったことが判明している。詳細調査中。	ガス栓(埋込一口ガス栓)	光陽産業株式会社	G57A (製造年不明)
9	4月15日	愛知県	0	(軽症) 3	0	需要家から「会社食堂の厨房の洗浄室内で食器洗浄機を使用していたところ、同室内にいた従業員3名が気分が悪くなり病院へ搬送され一酸化炭素中毒と診断された」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、当該洗浄室内に設置されたガス機器は当該機器のみであり、事故発生当時、機器上部にある換気フード設備は稼働していたことを確認した。さらに事故直後、機器メーカーが食器洗浄機の排気口付近で測定した一酸化炭素濃度は0.01%程度であったことが判明している。なお、当該洗浄室内に一酸化炭素警報機は設置されていなかった。詳細調査中。	業務用食器洗浄機	株式会社中西製作所	WGD-X23G4AT (2006年2月製)
10	6月4日	東京都	0	(軽症) 3	0	一般集合住宅の住民からガス事業者に対し、「当該集合住宅で救急車が来て住民が病院に搬送されたようなので点検してほしい。」との通報を受け、消防に問い合わせたところ、一酸化炭素中毒と思われる住民が病院に搬送されたことを知った。ガス事業者が現場確認をしたところ、当該建物は外壁塗装工事中であり、当該住戸のベランダに設置された屋外式風呂釜の換気口と給気口が養生のためビニールシートで塞がれていたこと、ビニールシートで覆われた範囲内に居室の換気口があることが確認された。詳細調査中。	屋外(RF)式風呂釜	リンナイ株式会社	RUF1602AW (1996年5月製)